

4月
卯月

うづき はなのこりづき とりまちづき
卯月・花残月・鳥待月

卯月の由来

卯の花が咲く月。卯の花とは「うづき」という木に咲く小さな白い花。

二十四節気

4/20 穀雨(こくう)

雨が穀物を潤して芽吹かせる。作物にとって重要な恵みの雨。

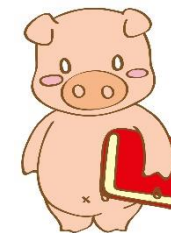


朝読書

朝読書に取り組んでいますか？
月曜日と金曜日の朝読書の時間を大切にしてほしいと思います。
忙しい日々、スマホやケータイがある中で、読書の時間はずいぶん少なくなっていると思います。本だからこそ感じられること、得られる知識は少なくありません。本との時間を大切にしてください。



らいぶらりい



倉吉北高図書館
2018.4.20

新しい1年が始まりました。1年生のみなさんは、新しいことづくめで緊張の続く毎日だと思います。心身ともに疲れを感じたときは・・・図書館へ来てください。本を読んで、ちょっと気分転換。また違うことに没頭すると短時間でストレス解消にもなります。ぜひ、上手にストレス解消、疲労回復をしながら、高校生活をエンジョイしてください！

2018 年本屋大賞決定！！



大賞「かがみの孤城」

辻村深月（ポプラ社）

2 位「盤上の向日葵」柚月裕子（中央公論新社）

3 位「屍人荘の殺人」今村昌弘（東京創元社）

4 位「たゆたえども沈まず」原田マハ（幻冬舎）

5 位「AX アックス」伊坂幸太郎（KADOKAWA）

6 位「騙し絵の牙」塩田武士（KADOKAWA）

7 位「星の子」今村夏子（朝日新聞出版）

8 位「崩れる脳を抱きしめて」

知念実希人（実業之日本社）

9 位「百貨の魔法」村山早紀（ポプラ社）

10 位「キラキラ共和国」小川糸（幻冬舎）

受賞作品は図書館で借りられます。

角野栄子さん

アンデルセン賞受賞！



「魔女の宅急便」「サラダでげんき」などの作者として知られる角野栄子さんが、児童文学のノーベル賞といわれる、「国際アンデルセン賞」の作家賞に選ばれました。日本人では、まどみちおさん、上橋菜穂子さんについて、3 人目。

角野栄子さんの言葉・・・

「言葉を、風景の中に溶かし込みたい。読書は勉強でもなく、強制されるものでもない。私が書いたものでも、読んだ時からその方の物語に変わり、読んだ人の力と相まって広がっていくのが物語の素晴らしいところです。」 2018.3.28 朝日新聞より

古雑誌処分につき

希望者には差し上げますので、見に来てください。
いずれも、2016年以前のものです。

スポーツグラフィック Number
ダ・ヴィンチ
CUT
SCREEN
食と健康

先着順としますので、ほしい方は早めに来てください。
4月27日（金）までとし、その後は処分します。

貸出・返却について

貸出冊数：1人5冊まで
貸出期間：2週間・・・返却期限を守りましょう。
必要に応じて督促を出します。届いた場合には速やかに返却をしてください。
リクエスト、予約も受け付けています。読みたい本がある時にはぜひ図書館を利用してください。
みなさんの来館をお待ちしています～☆☆☆



POPを作りました。

2年生が国語総合の時間に、POPを作成しました。（昨年度末3月）
作品を図書館内外に展示していますので、ぜひ見に来てください。
一緒に本も置いているので、気になる本は借りることもできます。



こどもの読書週間 4/23～5/12



子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとるの願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）に誕生しました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である2000年より現在の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日に期間を延長しました。開始当時より、図書館・書店・学校を中心に、子どもたちに本を手渡すさまざまな行事が行われてきました。